

中期経営計画(2021年度～2025年度)の概要 ～信頼を深め、金融革新に挑戦～

5つの重点戦略のポイント

ビジネスモデルの変革と 事業のサステナビリティ強化

1ー リアルとデジタルの相互補完による 新しいリテールビジネスへの変革

- 安心・安全を最優先に、すべてのお客さまが利用しやすいデジタルサービスを拡充するとともに、郵便局ネットワークを活用し、デジタルサービスの普及を促進
- 顧客基盤を活用し、グループ他社を含めた多様な事業者との連携により最適なサービスを提供する、オープンな「共創プラットフォーム」を構築
- 対面チャンネルの資産運用商品ラインアップを、当行の顧客層に合った商品に整理の上、郵便局ネットワークを活用し、投資初心者のお客さまには主に積立投資を提案
- お客さまのニーズを踏まえた取引チャンネルや取引手段をご提供するとともに、安定的なサービス提供の観点から料金を見直し・新設

DX
推進

2ー デジタル技術を活用した業務改革・生産性向上

- 定型的な取引のセルフ処理環境(窓口タブレット等)を整備し、デジタルチャンネルの充実と併せ、お客さまの取引チャンネルの選択肢拡充と、窓口業務の効率化を並進
- デジタル技術を組み合わせた総合的な業務の自動化により、貯金事務センター業務を改革
- DX推進等の重点分野への投資を積極的に行う一方、日本郵便への委託手数料を含め、既定経費を大きく削減し、経費全体を削減

3ー 多様な枠組みによる地域への資金循環と 地域リレーション機能の強化

- 多様な枠組みを通じた資金供給(特にエクイティ性資金)により、地域活性化に貢献
- 「地域の金融プラットフォーム」として、各地域の実情に応じた金融ニーズに対応
- 地域リレーション機能を強化し、地域の情報を活用した、新たなビジネス機会の創出に挑戦

4ー ストレス耐性を意識した市場運用・リスク管理の深化

- リスク対比リターンを意識しつつ、リスク性資産残高、戦略投資領域残高を拡大
- ストレス事象発生に備えた、ストレス耐性のあるポートフォリオ構築とリスク管理態勢深化
- ESG投資を通じた持続可能な社会実現への貢献

5ー 一層信頼される銀行となるための経営基盤の強化

- 一層信頼される銀行となるため、持続性のある組織風土改革と内部管理態勢強化を推進
- 信頼を支える高品質なシステム基盤を維持しつつ、戦略的なIT投資を積極的に推進

ESG
経営の
推進